

平成22年度公立高等学校における教育課程の  
編成・実施状況調査の結果について（抜粋）

## 1 調査対象学校数

（平成22年4月1日現在）

学校数 (中等教育学校後期課程を含む)	3,598
------------------------	-------

英語教育を主とする学 科を有する学校数	144
------------------------	-----

## 2 調査結果

## (1) 「学校における、言語活動の設定や指導に関わる認識の共有のための取組」の結果（普通科等における結果）

※授業における言語活動の展開方法等に関する認識を共有するために、外国語科全体又は当該科目の英語担当教員間で話し合うなどして、言語活動を指導計画に位置付けたり、授業で使用するワークシートを作成したりすることを実施している、及び実施していない学科数を示しています。

※言語活動とは、現行の学習指導要領「外国語」に規定されている言語活動のことです。

※英語担当教員とは、教員免許「外国語（英語）」を所有し、かつ調査時点で英語の授業を担当している管理職、教諭、助教諭及び常勤講師のことです。非常勤講師は除きます。

(学科数)

	共有化のための具体的な取組の実施				合計
	実施している	(%)	実施していない	(%)	
(ア)「オーラル・コミュニケーションⅠ」	4,307	85.7%	718	14.3%	5,025
(イ)「英語Ⅰ」	5,288	92.1%	452	7.9%	5,740

## (2) 「授業における英語担当教員の英語使用状況」の結果（普通科等における結果）

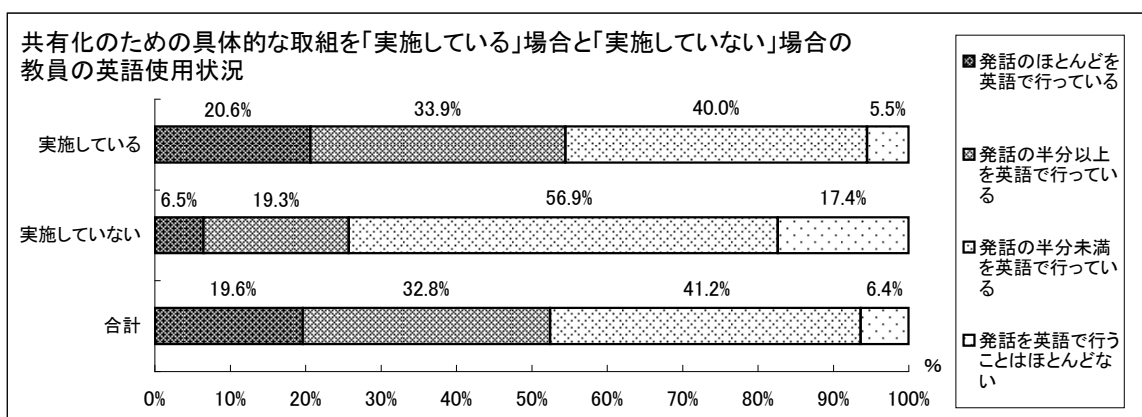
※表中の「実施している／実施していない」は、「共有化のための具体的な取組を実施している／実施していない」を意味しています。

※表中の「小計」は、それぞれの選択肢における「実施している」と「実施していない」の合計です。

## 「オーラル・コミュニケーションⅠ」

(教員数)

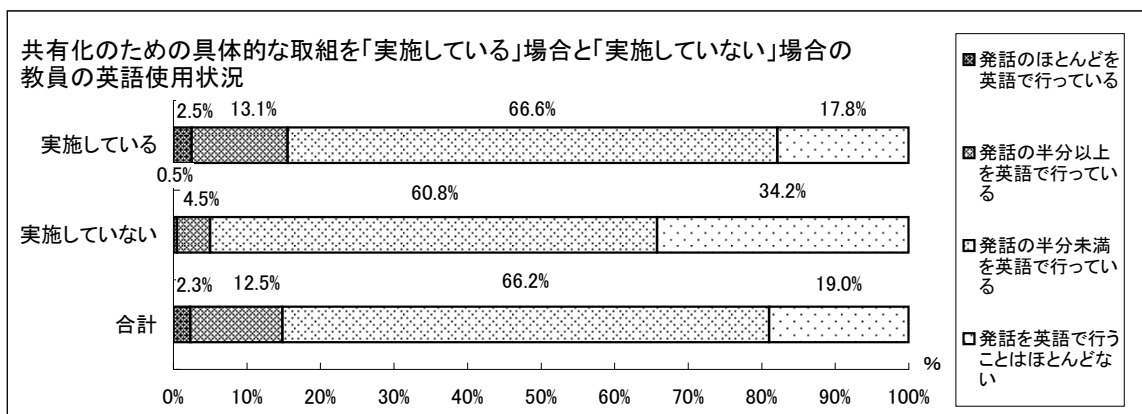
	該当する英語担当教員数				小計	合計
	実施している		実施していない			
発話のほとんどを英語で行っている	1,863	20.6%	45	6.5%	1,908	19.6%
発話の半分以上を英語で行っている	3,057	33.9%	134	19.3%	3,191	32.8%
発話の半分未満を英語で行っている	3,613	40.0%	396	56.9%	4,009	41.2%
発話を英語で行うことはほとんどない	497	5.5%	121	17.4%	618	6.4%
合計	9,030	100.0%	696	100.0%	9,726	100.0%



## 「英語Ⅰ」

(教員数)

	該当する英語担当教員数				小計	合計
	実施している		実施していない			
発話のほとんどを英語で行っている	281	2.5%	4	0.5%	285	2.3%
発話の半分以上を英語で行っている	1,492	13.1%	38	4.5%	1,530	12.5%
発話の半分未満を英語で行っている	7,593	66.6%	512	60.8%	8,105	66.2%
発話を英語で行うことはほとんどない	2,034	17.8%	288	34.2%	2,322	19.0%
合計	11,400	100.0%	842	100.0%	12,242	100.0%



## (3) 「授業における生徒の英語使用状況」の結果（普通科等における結果）

※本設問の回答者は英語担当教員です。したがって、表中の数字は、英語担当教員数を表しています。

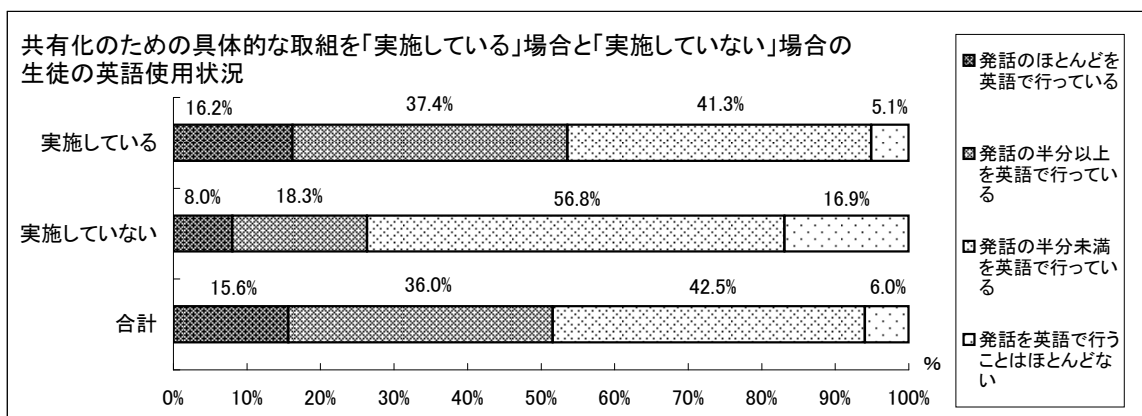
※表中の「実施している／実施していない」は、「共有化のための具体的な取組を実施している／実施していない」を意味しています。

※表中の「小計」は、それぞれの選択肢における「実施している」と「実施していない」の合計です。

## 「オーラル・コミュニケーションⅠ」

(教員数)

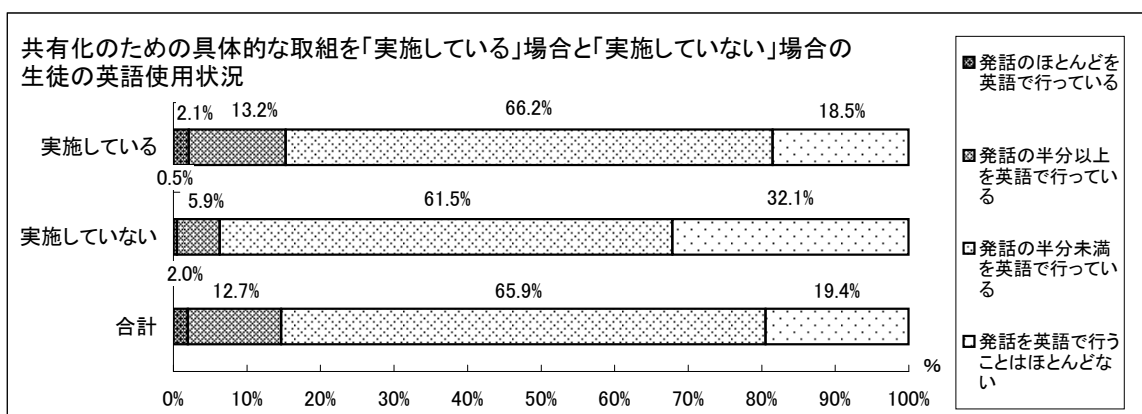
	該当する英語担当教員数			
	実施している	実施していない	小計	合計
言語活動のほとんどを英語で行っている	1,461	57	1,518	9,726
言語活動の半分以上を英語で行っている	3,370	130	3,500	
言語活動の半分未満を英語で行っている	3,726	403	4,129	
言語活動を英語で行うことはほとんどない	459	120	579	
合計	9,016	710	9,726	



## 「英語Ⅰ」

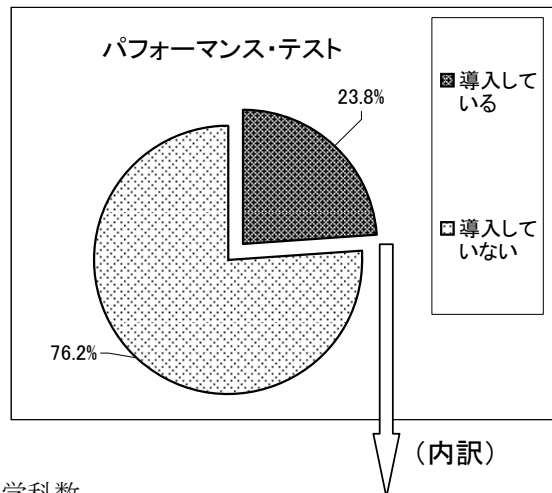
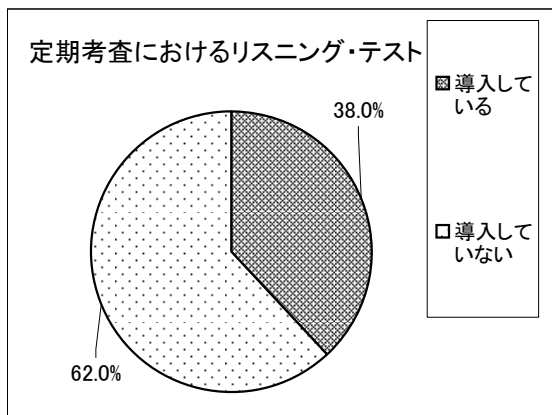
(教員数)

	該当する英語担当教員数			
	実施している	実施していない	小計	合計
言語活動のほとんどを英語で行っている	237	4	241	12,242
言語活動の半分以上を英語で行っている	1,505	50	1,555	
言語活動の半分未満を英語で行っている	7,541	525	8,066	
言語活動を英語で行うことはほとんどない	2,106	274	2,380	
合計	11,389	853	12,242	



(4) 「学習評価の方法」の結果 (普通科での「英語I」における結果)

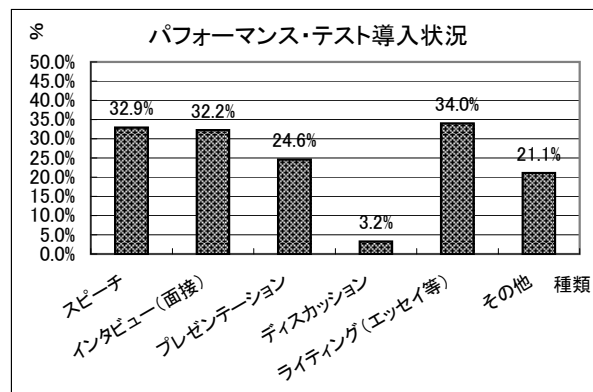
	導入している (%)	導入していない (%)	合計
定期考査におけるリスニング・テスト	2,181 38.0%	3,559 62.0%	5,740
パフォーマンス・テスト	1,366 23.8%	4,374 76.2%	5,740



「パフォーマンス・テスト」を導入している学科で、以下に該当する学科数 (導入している全学科に占める割合)(複数回答あり)

スピーチ	450	32.9%
インタビュー(面接)	440	32.2%
プレゼンテーション	336	24.6%
ディスカッション	44	3.2%
ライティング(エッセイ等)	465	34.0%
その他	288	21.1%

「その他」の内、主なもの  
音読テスト、暗唱テスト、創作スキット発表、  
レシテーション、ディベート



## (5) 「英語の外部試験による英語担当教員の英語力」の結果

※表中の(A)は、英語担当教員の総数を表しています。

※表中の(B)は、(A)のうち英語能力に関する外部試験(実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC)を受験した経験のある英語担当教員数を表しています。

※表中の(C)は、(B)のうち実用英語技能検定準1級以上の級、TOEFLのPB550点以上、CBT213点以上、iBT80点以上又はTOEIC730点以上のスコアを取得した英語担当教員数を表しています。

(教員数)

英語担当教員総数(A)	B	C	
23,985	16,589	11,721	
	(B)／(A)の割合	(C)／(A)の割合	(C)／(B)の割合
	69.2%	48.9%	70.7%

## (6) 「校内研修等の実施状況」の結果

## ① 英語担当教員同士の授業公開を実施している学校数

(学校数)

実施している	実施していない	計
2,707 75.2%	891 24.8%	3,598

## ② 英語担当教員による指導と評価に関する研修を実施している学校数

(学校数)

実施している	実施していない	計
1,828 50.8%	1,770 49.2%	3,598

## (7) 「中学校との連携について」の結果

(学校数)

	連携している	連携していない	合計
英語教育に関して中学校・高等学校で連携している学校数	837 23.3%	2,761 76.7%	3,598

連携している学校で、以下に該当する学校数

(連携している学校に占める割合)(複数回答あり)

(学校数)

情報交換(指導方法等についての検討会、合同研修の実施等)	414 49.5%
交流(授業参観、高等学校の外国語担当教員による中学校での授業等)	736 87.9%
その他(具体的に以下に記入)	95 11.4%

「その他」の内、主なもの

- ・中学校と高等学校の英語担当教員による教材や実態調査問題の作成
- ・中学校と高等学校の合同スピーチコンテストや合同英語キャンプの開催

# 高等学校「外国語科」における科目構成について

## 新学習指導要領（平成25年度から年次進行）

科目	標準 単位数	必履修科目
コミュニケーション英語基礎	2	○ 2単位まで減可
コミュニケーション英語Ⅰ	3	
コミュニケーション英語Ⅱ	4	
コミュニケーション英語Ⅲ	4	
英語表現Ⅰ	2	
英語表現Ⅱ	4	
英語会話	2	



## 現学習指導要領

科目	標準 単位数	必履修科目
オーラル・コミュニケーションⅠ	2	} ○
オーラル・コミュニケーションⅡ	4	
英語Ⅰ	3	
英語Ⅱ	4	
リーディング <sup>△</sup>	4	
ライティング <sup>△</sup>	4	